

# 令和4年度 上京中学校の教育

## ◎校訓

「人・もの・ときを大切に」

## ◎学校教育目標

### 自立・貢献・夢づくり

～ 豊かな心とたくましく生きる力を備え、  
夢や希望をもって、未来社会の創り手となる生徒の育成 ～

## ◎スローガン 「創発」

- ・一人ひとりの個が集まった時にできる「単なる集団」以上の特性や強みをもった集団になることを目指す。(クラス・学年・部活動・委員会・教職員などの集団)
- ・新たな解を目指して、協働して創意工夫を凝らし、その解を発信していく。

## ◎育成をめざす資質・能力と心

- ・情報収集・活用能力【知識及び技能】
- ・協働して課題解決する力【思考力，判断力，表現力】
- ・創意工夫して発信する力（書く・話す・描く・制作する・行動する）  
【思考力，判断力，表現力】【学びに向かう力，人間性等】
- ・折れない心（チャレンジ精神）
- ・自他理解と自尊心（自己肯定感・自己有用感）

## ◎めざす生徒像

1. 自己を見つめ，自らの課題に向き合う生徒
2. 目標を定め，主体的に学び・意欲的に行動・表現する生徒
3. 何事にも一生懸命に取り組み，粘り強くやり抜く生徒
4. 自らを律し，正しく判断・行動できる生徒
5. 多様な価値観を認め，互いに尊重し合い，共に助け合う生徒
6. 集団の中で，学び合い，磨き合い，高め合う生徒

## ◎めざす学校像

1. 明るく楽しく安心して通える学校
2. 一人一人の良さが発揮され，互いに成長し合える学校
3. 信頼され，誇りをもてる学校（通いたい・応援したい・働きたい）

## ◎今年度の重点項目

- 主体的・対話的で深い学びを重視した授業を通して，学びの質を高めるとともに，「自ら学ぶ力」を育成するための工夫を図る。（授業改善，学びに向かう主体性の育成）
- 日々の授業と家庭学習との連動を通して，自学自習の習慣化を図る。（自ら学ぶ力の育成）
- 自他を大切にする態度と内面への働きかけを通して，「公共の精神」としなやかで豊かな心を育成する。  
（道徳教育，人権教育の充実，自ら律する力の育成）
- 総合的な学習の時間，様々な体験活動を通して，社会で自立するために必要な能力や意欲，態度を育成する。（カリキュラム・マネジメントの視点をもったキャリア教育の推進，社会性の育成）
- 校種間連携・接続や地域と連携した取組を推進する。（保幼小中連携，地域貢献）

## ◎具体的な取組

### 1. 「確かな学力」の育成に向けて

- ・育成すべき生徒の資質・能力を明らかにし、主体的・対話的で深い学びの実現によって、それら資質・能力を涵養するとともに、授業導入時のめあて・見通しの確認や、終盤のまとめと振り返りを徹底することにより、学びと社会とのつながりや、学ぶ楽しさ、わかる喜びが実感できる授業を展開する。
- ・学校全体で授業改善の視点から校内研修や研究授業・研究協議等の充実を図り、生徒が主体的に学ぶ授業を進めていくことができるよう授業力の向上に取り組む。
- ・GIGAスクール構想の充実期に際して、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、授業改善につなげるとともにカリキュラム・マネジメントの取組をすすめる。
- ・全国学力調査や学習確認プログラムから学力実態を把握し、課題を明確にして計画的な学習を進める。
- ・主体的な学びにつながる自学自習の習慣化を図るために、家庭学習の課題の工夫に取り組む。
- ・朝読書や図書館教育を充実させ、各教科・領域と連携し言語活動を充実させる。
- ・個別の指導計画を活用し、LD等支援の必要な生徒の学力を向上させる。

### 2. 「豊かな心」の育成に向けて

- ・道徳の時間を中心としたしなやかな道徳教育の実践を推進し、他人を思いやる心や優しさ、相手の立場になって考え共感できる心と、よりよい人間関係を築く自主的・実践的な態度を育成する。
- ・社会生活を送るうえで必要な規範意識を育成するとともに、命を大切にする心や他人を思いやる心、感動する心など、生徒の豊かな人間性の育成を図る。
- ・自己有用感や自己肯定感などの自尊感情を高め、一人一人の生徒が「自信と誇り」を持って自らの力を発揮できる、集団づくり、学級経営を推進する。
- ・様々な教育活動を通じて、障害の特性や障害のある生徒の困りについての理解と認識を深め、互いに尊重し、共に成長し合う教育を推進する。

### 3. 「健やかな体」の育成に向けて

- ・運動やスポーツに親しむ気運を高め、その楽しさや喜び、達成感・成就感等を味わい、生涯にわたって運動やスポーツを豊かに実践することができるよう、体育学習や運動部活動の一層の充実を図る。
- ・体育学習や部活動の実施にあたっては、組織的・計画的な安全管理・健康管理を徹底するとともに、部活動の運営にあたっては、適切な休養日や活動時間を設け、安全で、より充実した活動となるよう学校全体で取組を進める。
- ・早寝、早起き、朝ごはんなどの基本的な生活習慣をさらに確立させるために実態調査を行うとともに、生徒をはじめ保護者や家庭への啓発を図り、食教育の充実を図る。
- ・薬物乱用防止教室、性教育、エイズ教育等の実施により、正しい知識の理解を図り、心や体を大切にすることを推進する。
- ・学校教育全体を通して防災教育や防災管理を充実させ、自ら命を守る主体的態度や安心で安全な社会づくりの意識を高める。